富山高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	航海英語Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0082	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	「はじめての船上英会話」（海文堂）		
担当教員	向瀬 紀一郎		

到達目標

１．航海系の船舶職員が利用する専門的な英単語を理解し活用できる
２．航海系の船舶職員が利用する専門的な英語フレーズを理解し活用できる
３．航海系の船舶職員が利用する専門的な英会話を理解し活用できる

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	専門的な英単語を十分に活用できる	専門的な英単語を活用できる	専門的な英単語を活用できない
評価項目2	英語フレーズを十分に活用できる	英語フレーズを活用できる	英語フレーズを活用できない
評価項目3	英会話を十分に活用できる	英会話を活用できる	英会話を活用できない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	航海系の船舶職員が利用する専門的な英単語・英語フレーズ・英会話を理解し応用する技能を学ぶ
授業の進め方・方法	教員単独による講義を実施する
注意点	３級海技士（航海）第１種船舶職員養成施設　上級航海英語講習に該当。 定期試験（７０％）と小テストや提出物（３０％）により総合的に評価する。 評価が６０点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあっては、その評価を６０点とする。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の目的を理解し説明できる
		2週	部署配置	部署配置の場面での英会話を理解し応用できる
		3週	出港	出港の場面での英会話を理解し応用できる
		4週	入港	入港の場面での英会話を理解し応用できる
		5週	抜錨	抜錨の場面での英会話を理解し応用できる
		6週	投錨	投錨の場面での英会話を理解し応用できる
		7週	機器等運転	機器等運転の場面での英会話を理解し応用できる
		8週	中間試験	中間試験
	2ndQ	9週	中間試験の解答	試験返却
		10週	操舵号令	英語での操舵号令を理解し応用できる
		11週	航海状況の報告	英語での航海状況の報告を理解し応用できる
		12週	周囲状況の報告	英語での周囲状況の報告を理解し応用できる
		13週	気象の報告	英語での気象の報告を理解し応用できる
		14週	変針	変針の場面での英会話を理解し応用できる
		15週	期末試験	期末試験
		16週	期末試験の解答	試験返却

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	20	0	50
専門的能力	40	0	0	0	10	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0